### 地域医療支援病院業務報告要旨

#### Ⅰ概要

カリガナ 病院名	オカヤマシリツシミンヒ゛ョウイン	
7的机石	岡山市立市民病院	
所在地	岡山県岡山市北区北長瀬表町三丁目20番1号	
管理者氏名 院長 今城 健二		
承認年月日 平成25年10月11日		
業務報告書提出日 令和6年9月30日		

### Ⅱ業務報告

対象期間	令和5年4月1日~令和6年3月31日

#### 1紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%超、逆紹介率40%超	
紹介率	①/ (②- (③+④+⑤) ) ×100	80.6 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	9,128 人
	②初診患者数	21,420 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する	
	救急自動車により搬入された患者の数	3,623 人
	(初診に限る)	
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数	6,482 人
	(初診に限る)	0,462 /
	⑤健康診断を目的とする受診により、治	
	療の必要性を認めて治療を開始した患者	0 人
	の数(初診に限る)	
逆紹介率	⑦/ (②- (③+④+⑤))×100	117.2 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	13,272 人

### 2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	1,279件
共同利用病床数	8床
共同利用病床利用率	7.7%
共同利用施設・設備	開放病床8床、医療機器(MRI2台、CT2台)、講義室、患者
共同作用地設・設備	相談室(5室)
登録医療機関数	73機関

## 3 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択すること】

## (1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	4,925人(2,440人)
救急搬送以外の救急患者数	12,788人(1,758人)
合計(うち初診患者数)	17,703人(4,198人)

※括弧内は、入院を要した患者数

## (2) 救急医療圏 (2次医療圏) 人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	
(初診患者のみ)	
B:救急医療圈 (2次医療圏) 人口※	人
C: A/B×1000> 2	(小数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口(該当2次医療圏における市区町村人口の総和)を用いること。

### (3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

#### 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

4 地域の医療促争者の負負の向上を図るための研修の美視		
	・岡山市立市民病院病診連携研修会	(3S会)
	・公開クリニカルパス大会	
	・キャンサーボード	
研修の内容	・まちかど心不全教室	
	・在宅医療コラボ講座	
	・市民公開講座	
	・岡山県安心ハートネット 他	
地域の医療従事者への	地域の医療従事者への実施回数 14	
合計研修者数 ※院内外の延べ参加人数		793人
	研修プログラムの有無	有
研修体制	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	14人
研修施設	講義室(2階会議室)、デイジールーム(3階)、研究室(2階)	

### 5診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長		
管理担当者	入退院管理支援センター 統括センター長		
診療に関する諸記録の	)保管場所	医事課、サーバー室	
	共同利用の実績	地域医療支援課	
病院の管理及び運営	救急医療の提供の実績	総務課	
に関する諸記録の保	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療支援課	
管場所	閲覧実績	個人情報保護委員会	
	紹介患者に対する関係帳簿	医事課	

# 6診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長		
閲覧担当者	個人情報保護委員会	個人情報保護委員会 副委員長	
閲覧に応じる場所	医局		
前年度の総閲覧件数			10件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を	医師	10件
	紹介しようとする	歯科医師	0 件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

# 7委員会の開催実績

委員会の開催回数		4回
委員会の概要	①令和5年 5月18日 第38回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会②令和5年 8月10日 第39回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会③令和5年11月 9日 第40回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会④令和6年 2月 8日 第41回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会(1)地域医療支援病院としての業務報告についてア 紹介率・逆紹介率についてイ 医療機器の共同利用・開放病床についてカ 救急医療についてエ 研修についてエ 研修について	

## 8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者相談室1・2・3・4・5
主たる相談対応者	医師1名、看護師3名、薬剤師1名、MSW1名、事務2名
相談件数	21,967件
相談の概要	・退院支援、受診相談、医療費について、各種福祉制度について、がん相談 他

### 9地域医療支援病院に求められるその他の取組(任意)

### (1)病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有
評価を行った機関名、評価を 受けた時期	・(財)日本医療機能評価機構	一般病院 2 (令和元年12月)

注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

### (2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有	
情報発信の方法、内容等の概要	関と医療連携を推進し、医療機器 域の医療従事者への研修等を通し	者の紹介・逆紹介等により地域の医療機器の共同利用・開放病床や救急医療、地で、地域の医療機関を支援していくこ 医療機関訪問のうえPR、院内掲示等に を信している。	

### (3) 退院調整部門

退院調整部門の有無		有
退院調整部門の有無概要	退院困難事例は地域医療連携室後援看護師と協働で退院支援を行っらの情報収集、課題・問題点の抽活用等を行い、アセスメントを実	があり、入院時スクリーニングにより、 会方支援の看護師・MSWが病棟退院支 っている。患者・家族・病院スタッフか 由出、介護保険サービス等の社会資源の 足施し、退院支援カンファレンスや退院 時職種との連携により、患者さんのサ

## (4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有	
①策定した地域連携クリティカ	①策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容	
・脳卒中地域連携パス、大腿質	・脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パス	
高齢化に伴い急増する脳卒中・	大腿骨頸部骨折といった、長期の療養・	
リハビリテーション・在宅介護	隻を必要とする疾患を持つ患者について、	
急性期病院と回復期リハビリ症	5院、維持期病院が継ぎ目なく連携するこ	
とによって、患者が円滑に在宅	E復帰することができるように、それぞれ	

における診療内容、ADL等を診療計画表にしたものを運用している。

・岡山県統一版5大がん地域連携パス

がん診療連携推進病院である当院とがん診療連携医療機関が、がんの術後フォローアップを目的として連携できるよう、5大がんの種別別に術後の予定を治療計画表にしている。

・岡山県急性心筋梗塞医療連携パス、岡山県急性心不全医療連携パス 急性心筋梗塞及び急性心不全の患者の治療経過を急性期病院と地域のか かりつけ医が共有し、より連携を密にすることにより、医療の質の向上 と患者の予後の改善を目的として作成された、「安心ハート手帳」を運 用している。

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを 普及させるための取組

②地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

・脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パス

岡山県内の急性期・回復期・維持期の病院で設立した「もも脳ネット」が、地域連携パスの普及等を目的として地域連携パス運用会議を開催し、地域連携パスの見直し見直しや集計等について協議しており、当院もコアメンバーとして地域連携パスの普及に向けて取り組んでいる。

・がん地域連携パス

岡山県がん診療連携協議会の各部会等に出席するほか、院内の委員会 (がん診療連携推進委員会)においてパスの普及等について協議してい る。また、定期的にキャンサーボードを開催し、複数の領域にわたる症 例について検討を行うことにより、がん診療連携医療機関の医療従事者 と連携を図っている。

・急性心筋梗塞医療連携パス、急性心不全医療連携パス 当パスの運用促進に向けて、当院の連携医療機関として連携していただ けるよう地域の医療機関に働きかけており、協力医療機関と連携を開始 している。

病院名

岡山市立市民病院